

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	戦略的連携・協働により宮田中心市街地の特色を輝かせる事業
事業主体 (連絡先)	宮田村の景観を考える会 〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村 3250 番地 (0265-85-2017)
事業区分	③ 教育、文化の振興に関する事業、④ 環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,767,065 円(うち支援金: : 1,303,000 円)



事業内容

宮田村のまちなかを客観的に捉えると、その中核となる宮田宿には、町屋・蔵・水路、著名な祇園祭などの文化・歴史的資源が数多く残り、さらに複数の福祉施設が近接して立地しているなど、大きなポテンシャルを秘めている。そこで、まちなかで個別に行われていた小規模な事業や異分野間の事業を戦略的に相互連携・協働させることで総合的な動きを創出し、<歴史・文化・福祉・賑わいが共存>する<新しいタイプの中心市街地>として、その個性・特色を輝かせ、活性化を図った。その結果、まちなかを上伊那の歴史・文化的拠点の一つに育てる礎を築く、という本年度の目標は概ね達成された。



【みやだ探検ガイドツアー】

【目標・ねらい】

個別に行われていた小規模な事業や異分野間の事業を戦略的に相互連携・協働させることで総合的な動きを創出し、<歴史・文化・福祉・賑わいが共存>する<新しいタイプの中心市街地>の個性・特色を輝かせ、活性化を図り、上伊那の歴史・文化的拠点の一つに育てることを目標として各種事業を展開した。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

【福祉広場・カフェ】売上金・募金：実績 66,946 円、達成率 44.6%、満足度 91%。【ガイドツアー】参加者：実績 105 名、達成率 131.3%、満足度 94%。【博物館】来館者：実績 492 名、達成率 246%、満足度 85%。【景観ワークショップ】参加者：実績値 30 名、達成率 75%。【マーケット】出店申込 48 店舗、ハロウィンイベント参加者 52 名、満足度 56%。【商業・観光・連携ワークショップ】参加者：実績 88 名、達成率 293.3%、満足度平均 66.5%。【昔の写真の資料化】実績 120 枚、達成率 120%。多くの項目で目標値を達成した。

以上のように多様な連携・協働で様々な事業が実現し、年中行事としての定着が図られてきたことで、中心市街地の魅力を高める基盤ができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

複数年の事業実施により、まちなかの再生に向けた新たな連携の枠を創出できた。その結果、宮田宿歴史保全区域を中心に、蔵や町屋の持主も含めて住民の積極的な参加・協力が着実に増加した。2018 年度は支援金申請の最終年度と位置付け、これまでの成果を定着・発展させながら、歴史・文化資源の保全・活用を担う人材の総合的育成ビジョン(住民理解拡大・人材育成・事業と場の継続・活動ノウハウの継承と提供)を遂行し、人材的・財政的な自立を目指す。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

※自己評価 **【A】**

【理由】昨年を上回る延べ 49 の団体・企業等と連携し、事業を推進できた。また、参加者の満足度は平均 76.5%で、本事業に対して一定の評価を得られたものと考えている。